

討論の末 10対1で可決

広野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

6月定例会

平成20年度から、国民健康保険税に「後期高齢者医療支援金等課税額」が加えられることから、「広野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例」の制定をめぐる討論が行われ、採決の結果、賛成10、反対1で可決されました。

反対 畑中大子議員

後期高齢者医療への支援金に反対する

国民健康保険からも「後期高齢者医療支援金」として現役世代などから後期高齢者医療に対してお金が入れられています。75歳以上の方は複数の病気を持っている方が多く医療費が掛かります。この先持続できるのかどうかさえ危ぶまれている中で、私は後期高齢者医療制度そのものに反対する立場から、この国民健康保険税条例の一部を改正する条例に支援金が入っている以上、この条例に反対します。

賛成 中津伸一議員

国保は町民の生活を支えているものだ

私も国民健康保険の加入者なのでたいへん不安に思っています。しかし、この国民健康保険は「備えあってうれしいなし」というように、大病を起こした方など、町民生活の根幹を支えているものです。われわれ議会議員は、こうした方々の立場に立ってこの条例を推進していかなければなりません。私は所管グループをはじめ、町長部局で審議し、より良い保険制度となるよう強く求め、この条例に賛成します。



池田 政明氏
折木字亀ヶ崎

任期満了にともなう、広野町固定資産評価審査委員会委員に、池田政明氏を選任することに同意しました。

固定資産評価 審査委員に選任

坂本議長が福島県後期高齢者医療 広域連合議会議員に立候補

4月24日に福島県後期高齢者医療広域連合議会議員の補欠選挙が告示され、欠員3人に対して本町議会の坂本紀一議長を含む4人が立候補しました。

この選挙は、県内の町村議会6月定例会でそれぞれ投開票を行い、すべての投開票が終了した時点で候補者ごとの得票数を集計し、当選者を決めるものです。

広野町議会の投開票結果は以下のとおりです。

坂本 紀一氏 (広野町議会議員)	11票
大和田 昭氏 (小野町議会議員)	0票
鈴木 巖氏 (会津美里町議会議員)	0票
斎藤 松夫氏 (桑折町議会議員)	1票

※県内の得票数を集計した結果、7月1日づけで坂本紀一議長、大和田昭氏、鈴木巖氏が当選しました。

議会推薦の農業委員

新妻 良平氏 (折木字東下)
猪狩 圭二氏 (下浅見川字桜田)
大和田久司氏 (下北迫字東町)

敬老祝金等は商品券で支給

広野町敬老祝金等支給条例の一部改正により、今年の敬老祝金等については、商品券で支給することになりました。

6月 定例会

こんなことが決まりました

広野町サッカー支援センター増築工事は 田中・西武特定建設工事共同企業体が落札



サッカー支援センター増築工事予定地

広野町サッカー支援センター 増築工事請負契約の概要

工事の名称

広野町サッカー支援センター増築工事

工事の場所

広野町大字下北迫字二ツ沼地内

工期

着工：平成20年6月12日
完成：平成21年2月27日

工事代金

1億9,740万円

請負者

田中・西武特定建設工事
共同企業体

構造

鉄筋コンクリート造2階建

延床面積

840.15㎡

高校生用居室、トイレ、コミュニケーションスペース、ゴミ庫、倉庫

6月補正

6月定例会に提案された一般会計ならびに3特別会計補正予算は、一般会計では、主に地区集会所整備事業費の減額および災害復旧費ほかの計上で、特別会計では、主に国民健康保険の保険給付費等の増額にともなう計上でした。

6月補正（平成20年度予算）の結果

会計名	補正後の予算額	(補正額)
一般	34億1,246万円	(1,176万円)
国民健康保険特別	6億1,416万円	(1,163万円)
公共下水道事業特別	2億5,054万円	(△23万円)
介護保険特別	2億6,232万円	(6万円)

6月補正の主な内容

- 地区集会所整備事業費（基金積立金を含む）
△3,077万円
- 土木施設災害復旧費
1,050万円
- 保険給付費（国民健康保険）
1,140万円

平成20年6月定例会を、6月10日から11日までの会期で開きました。今回は、サッカー国際人育成支援施設整備事業にともなう「広野町サッカー支援センター増築工事」の工事請負契約の締結をはじめ、条例の改正や平成20年度補正予算、人事案件など、提出された14の議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。また、広野町農業委員会委員の議会推薦枠の3人を決めたとほか、福島県後期高齢者医療広域連合議員の補欠選挙にともなう広野町議会の投開票を行いました。なお、一般質問では6人の議員が、それぞれ町の対応や考えを問いました。